

シングル分岐混合栓

+eco

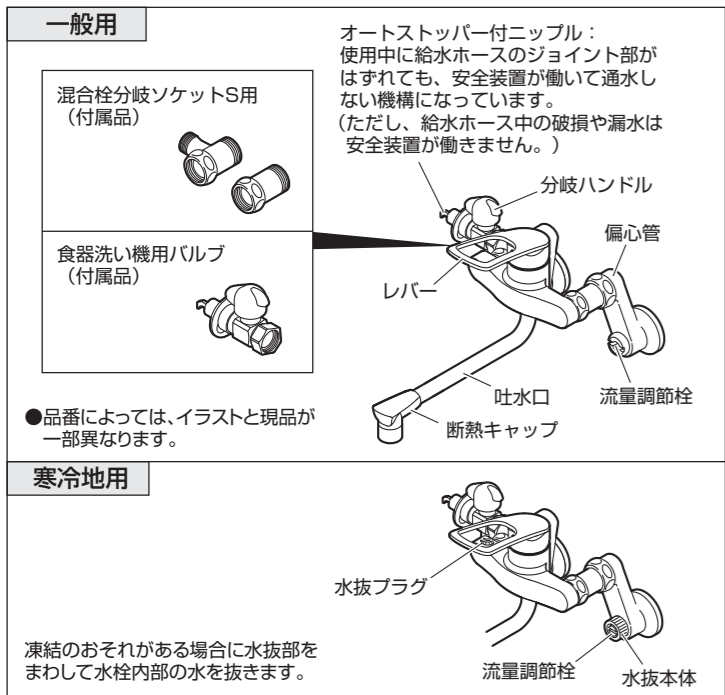
K17111ED-13
(寒冷地用) K17111EDK-13)

施工説明書

- 施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しく下さい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

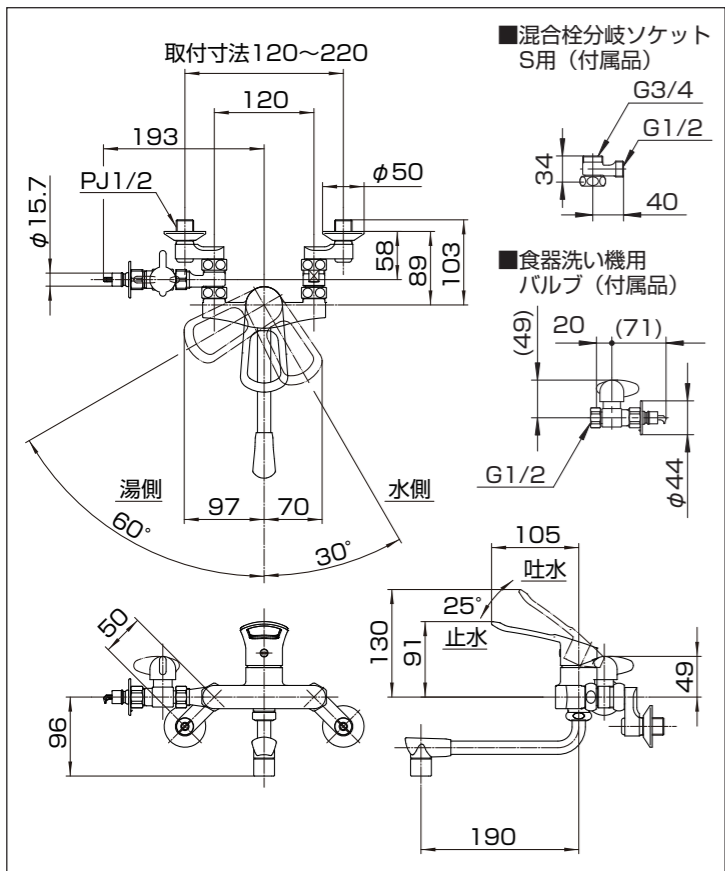
本製品について 各部の名称

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。



本製品について 寸法図

- 仕様により、寸法が異なる場合があります。



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠️ ……「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

🚫 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

👉 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

🚫 「分解してはいけません!」

注意

- 🚫 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 湯水を逆に配管しないでください。正常に作動しないため、やけどをする事があります。なお、逆配管の場合は逆配管アダプター(別売)を使用する事で、逆配管でも表示通りに湯水を使用する事ができます。
- 🚫 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 浄水器などに接続する場合は、給水接続で使用してください。高い温度で使用しますと、接続機器が破損するおそれがあります。
- 🚫 食器洗い機などに接続する場合は、接続機器の使用最高温度を確かめてから接続してください。使用最高温度より高い温度で使用しますと、接続機器が破損するおそれがあります。(食器洗い機への給湯温度は60℃が目安です。温度設定できない給湯設備の場合は給水接続で使用してください。)
- 🚫 接続機器取付後は、分岐部の接続部から水漏れのないことを確認してください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 (寒冷地用の場合) 凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 (寒冷地用の場合) 水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

(水圧について)

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高水圧(止水時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上してください。

(給湯機について)

使用最高温度	85℃以下
●給湯機からの給湯機は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。	
●誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。	
●給湯に蒸気を使用しないでください。	
●本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側で上げると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。	

(水質・用途について)

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	用途	一般住宅用

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

●本書(施工・取扱説明書「保証書付」)×1

食器洗い機用バルブ ×1 混合栓分岐ソケットS用 ×1セット

パッキン 分岐ソケット パッキン ソケット パッキン

食器洗い機用バルブ

●寒冷地用の場合

レバー 六角レンチ(対辺3mm)×1 止めねじ キャップ

レバーの止めねじ用工具です。なくさないように保管してください。

本体 ×1 逆止弁コア

吐水口 ×1 Uパッキン

●寒冷地用の場合

吐水口

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品に問題ありません。

●この製品の一般用は、湯側のみ逆止弁コアが付きます。

施工について 施工手順

主な工具類

- シールテープ: 水栓の偏心管を配管に取付ける際に必要です。SAN-EI品番: PP75-1S (シールテープ)
- 使い古しのハブラシなど: 配管掃除ができるもの。
- タオルなど: ケガ防止や水栓保護のために使用します。
- スパナ・モンキーレンチなど: 水栓のナットがまわせる工具。SAN-EI品番: PR3351 (水栓スパナ)
- 手袋: ケガ防止のために着用してください。
- ぞうきんなど: 配管中の残り水を拭くのに使います。
- 元栓がキー式の場合に必要な工具
- 止水栓キー SAN-EI品番: PR30A(止水栓キー)

1 配管内の掃除をします。

注意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、**この場合には有償修理となります。**

ハブラシなど

逆配管の場合

通常の配管は向かって左側が湯、右側が水ですが、逆配管は向かって左側が水、右側が湯になっています。このような場合には正常に作動しません。下記の方法を行って、逆配管でも使用できるようにしてください。

●逆配管アダプター(別売)による対応
逆配管アダプターを使用する事によって、逆配管を通常の配管にします。

※ 取付方法については逆配管アダプターの説明書をお読みください。

逆配管アダプター SAN-EI品番: PU70-3S

2 偏心管の取付回転を確認します。

偏心管を湯側・水側に分けて配管に取付け、何回転で止まるか回数を確認します。

※「ハ」の字になるように

アドバイス

取付回転数は後で偏心管を仮固定する際の目安にします。

MEMO

湯側 回転 / 水側 回転

3 偏心管にシールテープを巻きます。

ねじに向かって右向きに、10回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。

アドバイス

シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。

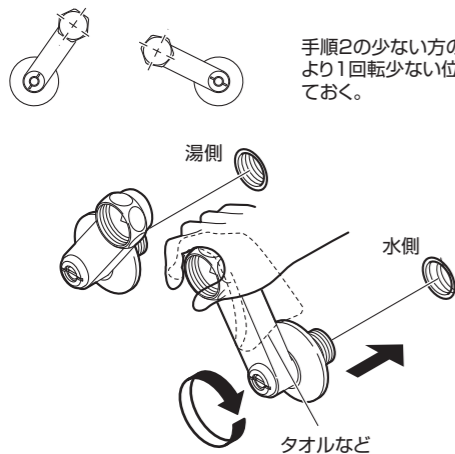
シールテープ SAN-EI品番: PP75-1S (シールテープ)

注意

シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

4 偏心管を仮固定します。

偏心管をタオルなどであてがい、湯側・水側ともに右にまわして入れます。手順2で確認した偏心管の少ない方の回転数より1回転少ない位置まで、湯側・水側ともにまわして止めておきます。



アドバイス

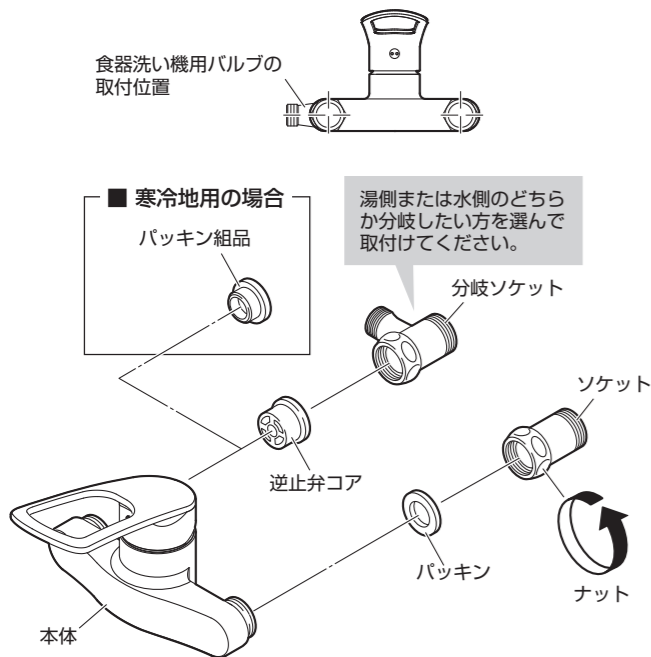
上記のように偏心管を少し手前で止めておくことで、ねじ込みすぎを防止します。

注意

漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしゆるめてしまった場合は、手順3をもう一度はじめて行ってください。

5 分岐ソケットを取付けます。

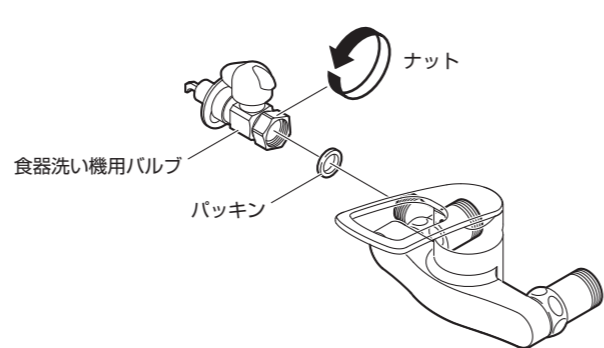
水栓本体と分岐ソケットの間に、一般用は 水側：パッキン 湯側：逆止弁コア、寒冷地用は 水側：パッキン 湯側：パッキン組品が入っている事を確認し、分岐バルブが水平になるように取付けます。



注意

- 水栓本体と偏心管の間に、一般用は 水側：パッキン 湯側：逆止弁コア、寒冷地用は 水側：パッキン 湯側：パッキン組品が入っていることを確認してください。パッキン、逆止弁コア、パッキン組品が入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 水栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。
- 浄水器などに接続する場合は、給水接続で使用してください。高い温度で使用すると、接続機器が破損するおそれがあります。
- 食器洗い機などに接続する場合は、接続機器の使用最高温度を確かめてから接続してください。使用最高温度より高い温度で使用すると、接続機器が破損するおそれがあります。

6 食器洗い機用バルブを取付けます。



7 水栓本体を取付けます。

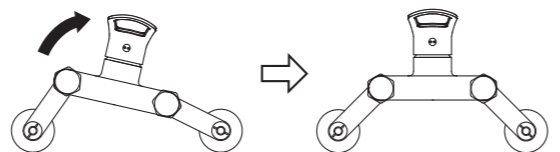
(1) 水栓本体と偏心管の間に、パッキンが入っている事を確認し、水栓本体がまっすぐになるように偏心管を調節しながら手でナットを締付けていきます。

注意

- 漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしゆるめてしまった場合は、手順3をもう一度はじめて行ってください。
- 水栓本体と偏心管の間に、パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 水栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。

注意

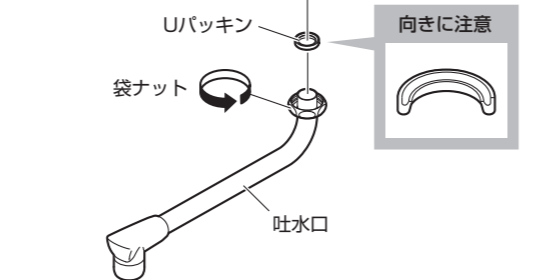
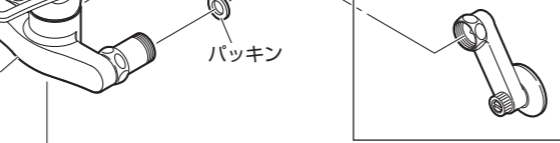
偏心管の水抜部が本体よりも上になると、寒冷地用の場合水抜きできませんので必ず下になるように取付けてください。



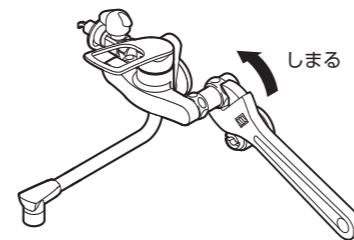
寒冷地用の場合



寒冷地用の場合



(2) モンキーレンチなどでナットをしっかりと締付け、水栓を偏心管に固定します。



注意

緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

8 ガタツキ・水漏れチェックをします。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめてやり直してください。最後に座金を壁面に締付けて完了です。



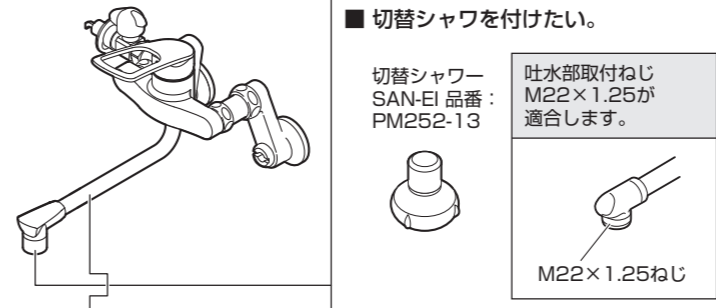
注意

取付後の通水は、必ず分岐部に給水ホースを接続した後、行ってください。
※ 分岐側の接続については、取扱説明書：「吐水・止水・温度調節」分岐側の接続についてをお読みください。

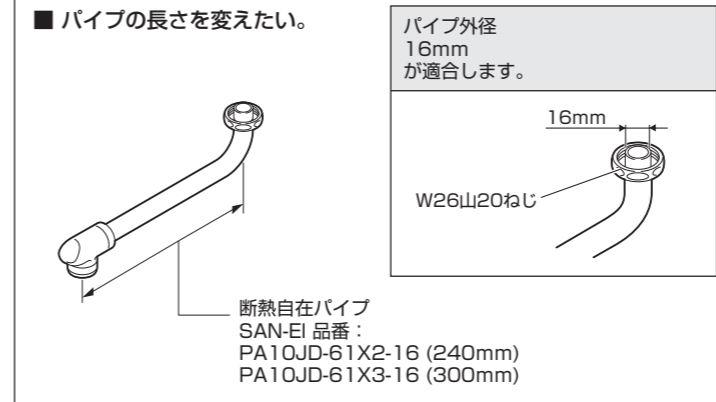
こんなときは オプション品について

SAN-EIでは、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどでとりそろえております。(品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。)

切替シャワを付けたい。

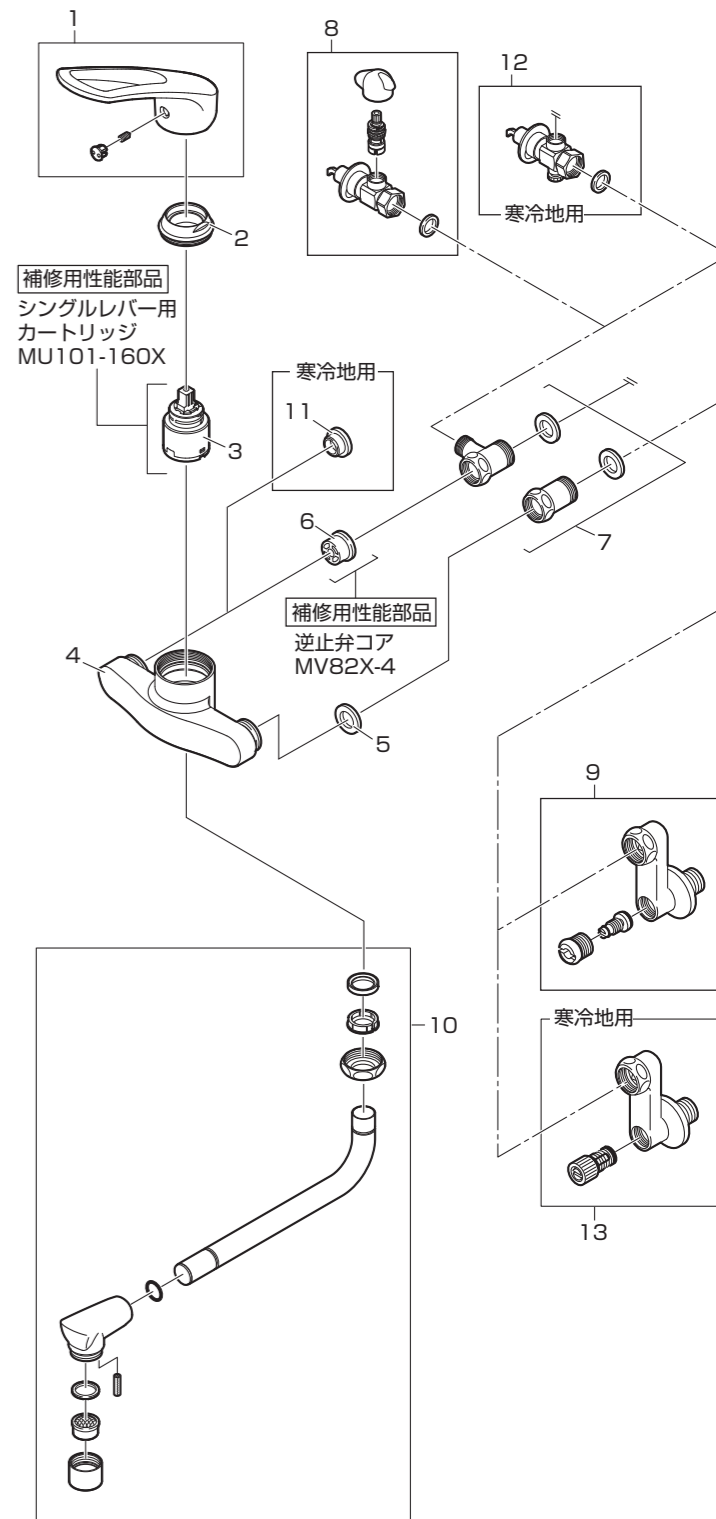


パイプの長さを変えたい。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



K17111ED-13

一般用
1. レバー
2. プッシング
3. シングルカートリッジ
4. 胴
5. パッキン
6. 逆止弁コア
7. 混合栓分岐ソケットS用
8. 食器洗い機用バルブ
9. 偏心管
10. 吐水口

K17111EDK-13

寒冷地用
11. パッキン組品
12. 食器洗い機用バルブ
13. 偏心管

株式会社 三栄水栓製作所

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

TEL 大阪 (06)6976-8661

TEL 東京 (03)3683-7496

シングル分岐混合栓

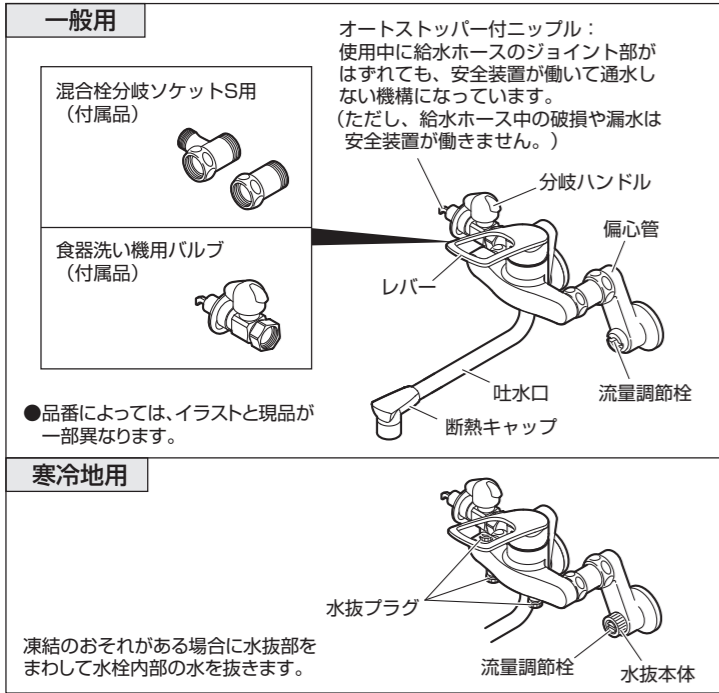
..... K17111ED-13
(寒冷地用..... K17111EDK-13)

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単にいきますので、節水にも役立ちます。



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 「注意しなさい!」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
- 「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）
- 「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）
- 「分解してはいけません!」（指示した場所に触れてはいけません!）」

警告

- 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。

注意

- 朝一番に使う水は、飲まずに別の用途にお使いください。しばらく使わないと、水栓内の水は消毒用の塩素がなくなり、におうことがあります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

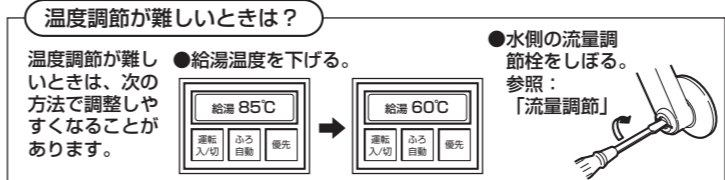
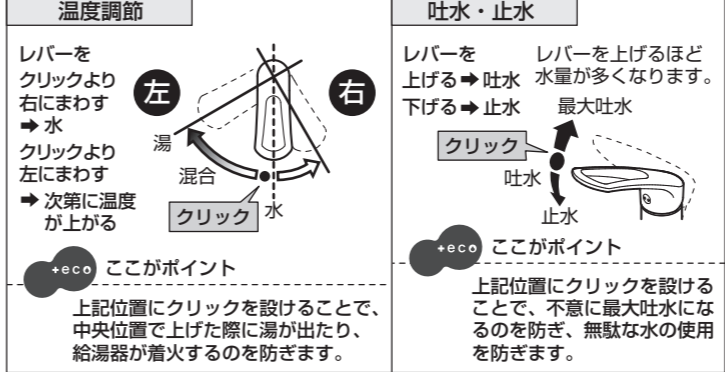
- 水栓の左側には直接肌を触れないでください。給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いのときは、吐水口に直接肌を触れないでください。吐水口は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。
- 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- （給湯器の設定温度について）給湯温度は最高85℃まででお使いください。85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- レバーの温度位置を確かめて吐水してください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 湯をお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- レバーは、ゆっくり動かしてください。レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。
- 長期間使用しない時は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。
- 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がこじみ出るおそれがあります。
- （吐水口先端に浄水器を取付ける場合）止水機構を持った浄水器などは、取付けできません。吐水口部から漏水するおそれがあります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- （寒冷地用の場合）凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- （寒冷地用の場合）水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 吐水側と分岐側を同時に吐水しないでください。十分な流量が得られなかったり温度が変わり、やけどをするおそれがあります。
- ホースをはずす際は、分岐ハンドルを止水位置に合わせてからはずしてください。水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ホースを接続するまで吐水しないでください。本製品の自動ストップ機能は緊急用です。安全装置が動かなくなって給水ホースが取り付けられなくなった場合は、次の手順で安全装置を復帰してください。
- ①分岐ハンドルを止水位置に合わせ、②タオルなどで手を保護して安全装置を押し込んでください。
- ニッブルに直接ホースを接続して使用しないでください。ホース接続部より漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ホース接続部より水漏れがないかご確認ください。水漏れが発生した場合は、再度取付けをやり直してください。水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ホース接手を本体のニッブルに確実に差し込んでください。確実に差し込まないと水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

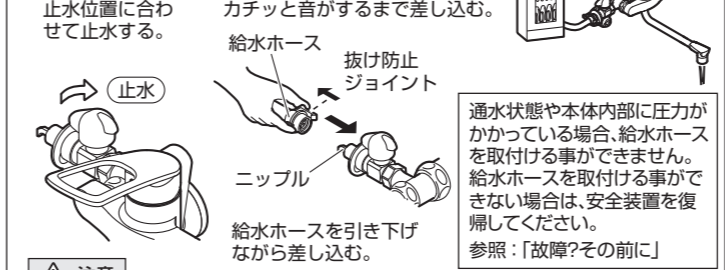
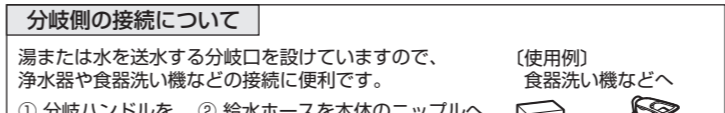
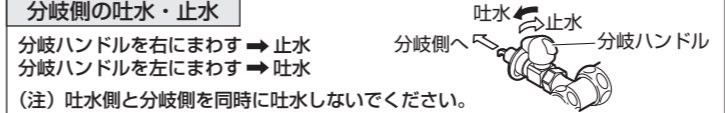
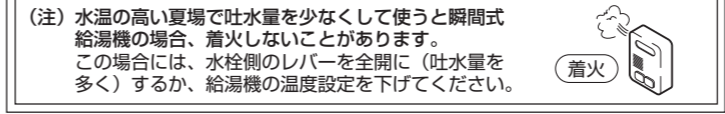
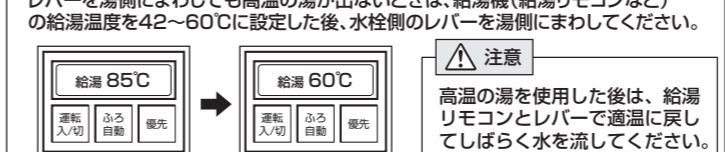
- 接続機器などを使用しない時は、分岐ハンドルを閉めてください。給水ホースがはずれて漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 食器洗い機などに接続する場合は、接続機器の使用最高温度を確かめてから接続してください。使用最高温度より高い温度で使用すると、接続機器が破損するおそれがあります。（食器洗い機への給湯温度は60℃が目安です。温度設定できない給湯設備の場合は給水接続で使用してください。）

ご使用について 吐水・止水・温度調節

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。本製品は「+eco カートリッジ」搭載製品です。



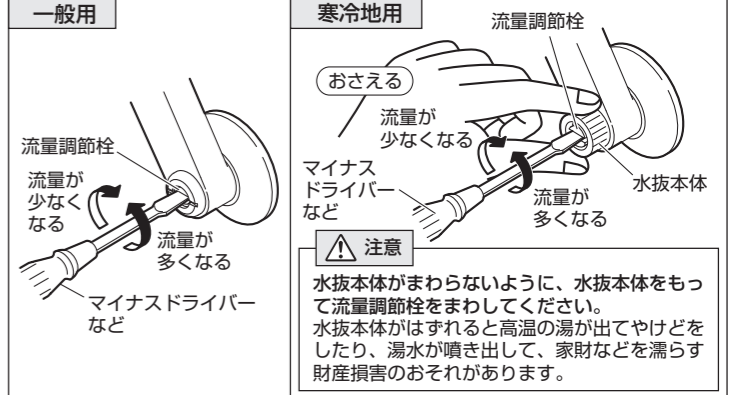
高温の湯が出ないときは?



- 浄水器などに接続する場合は、給水側で接続してください。高い温度で使用すると、接続機器が破損するおそれがあります。
- 食器洗い機などに接続する場合は、接続機器の使用最高温度を確かめてから接続してください。使用最高温度より高い温度で使用すると、接続機器が破損するおそれがあります。
- 湯を分岐する場合は、高温の湯が出てくるおそれがありますのでご注意ください。やけどをするおそれがあります。
- 接続機器取付時は、パッキンが入っている事を確認し、取付後は分岐部の接続部から水漏れのないことを確認してください。
- 漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 給水ホースをはずす際は、分岐ハンドルを止水位置に合わせてからはずしてください。水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ご使用について 流量調節

ドライバーでまわす事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。



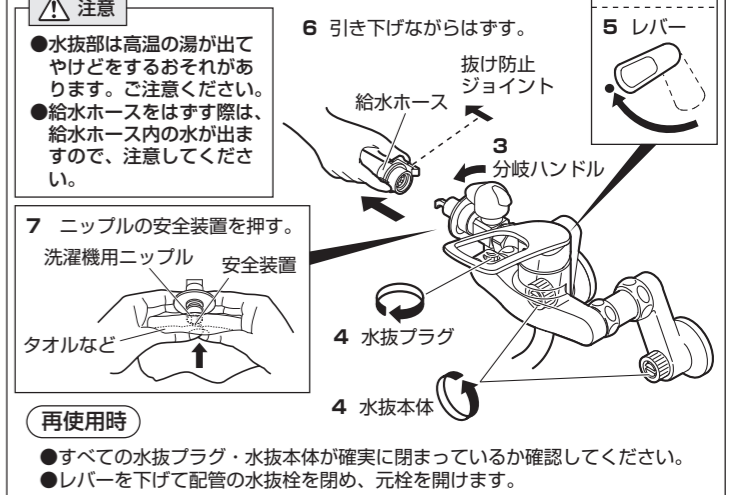
凍結予防について 一般用の場合

- 水栓より少量の水を出してください。（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）
- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

凍結予防について 寒冷地用の場合（水抜方法）

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜栓）とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- 2 レバーを上げ、右側いっぱいに戻します。
- 3 分岐ハンドルを開きます。
- 4 水抜プラグ・水抜本体をすべてゆるめます。
- 5 レバーを上げたまま、左側いっぱいに戻します。
- 6 水栓から給水ホースをはずします。
- 7 タオルなどで手を保護して安全装置を押します。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

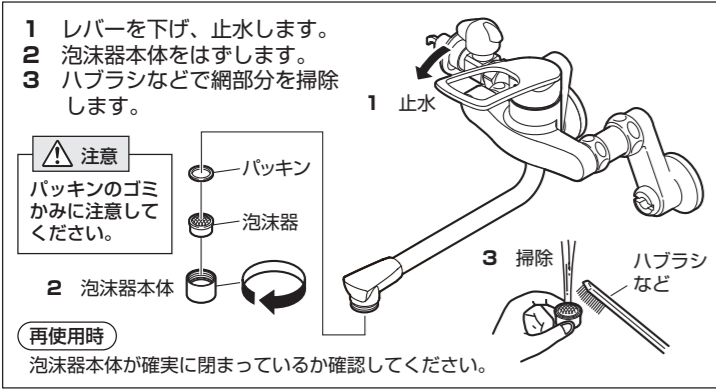
- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

注意

- 次のは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ペンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

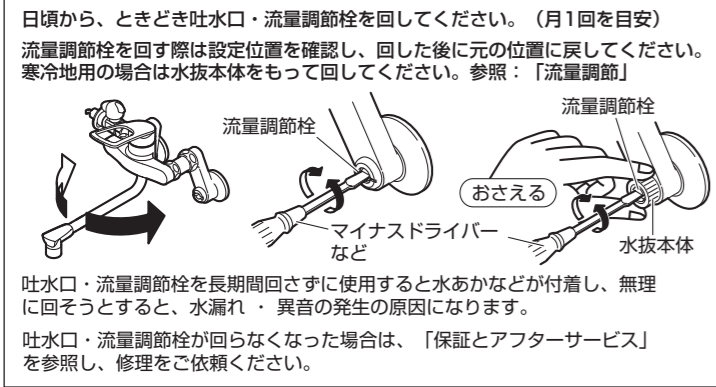
日頃のお手入れ 吐水口の掃除

吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

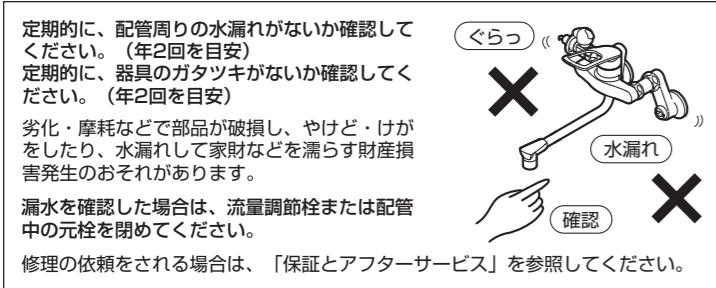


定期的な点検 可動部分の点検

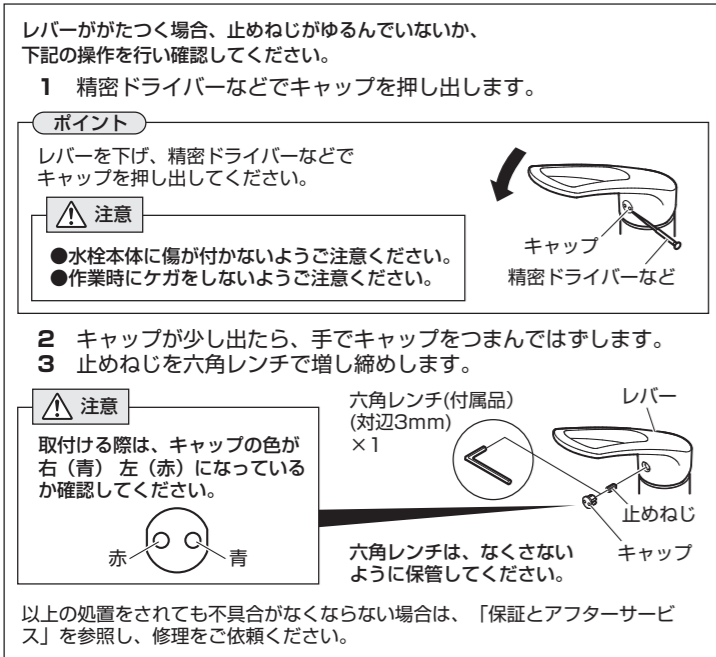
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。吐水口・流量調節栓の点検については下記を参照ください。



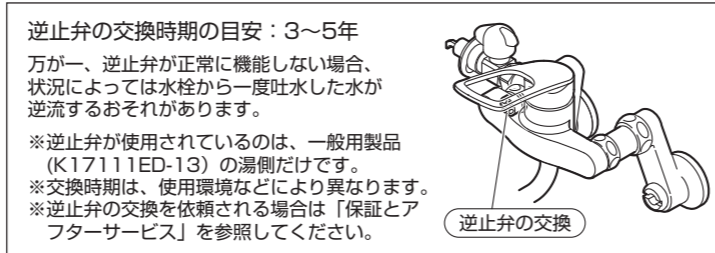
定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ



定期的な点検 レバーのガタツキ

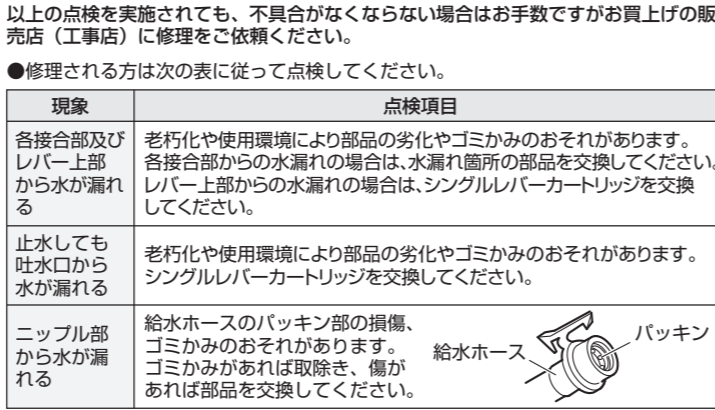


定期的な部品交換 逆止弁の交換時期

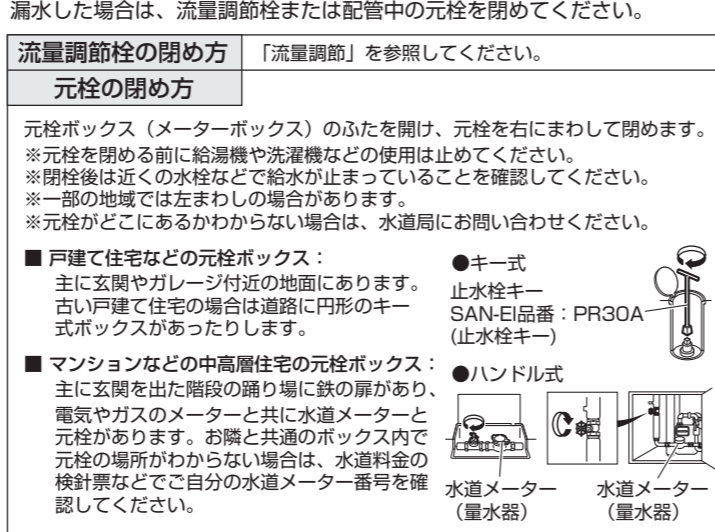


こんなときは 故障? その前に

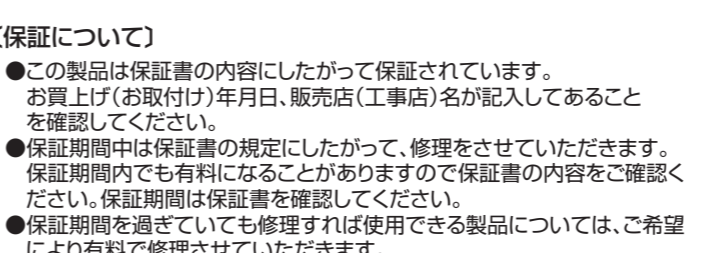
Table with 3 columns: 現象 (Symptoms), 点検項目 (Inspection items), 処置 (Actions). Lists various issues like low flow, high/low temperature, temperature control problems, and hose connection issues.



漏水した場合の処置

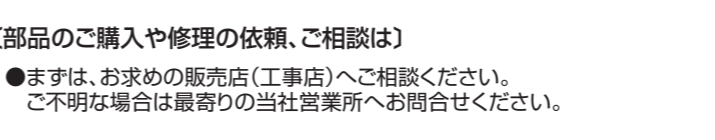
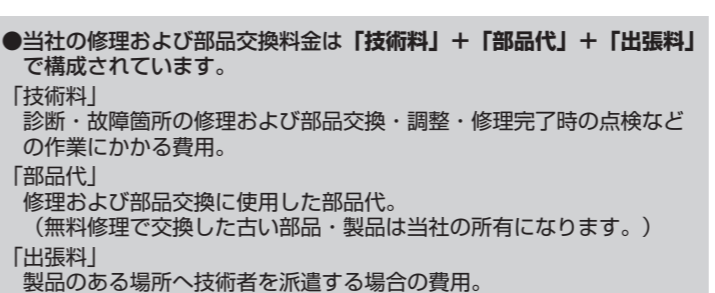
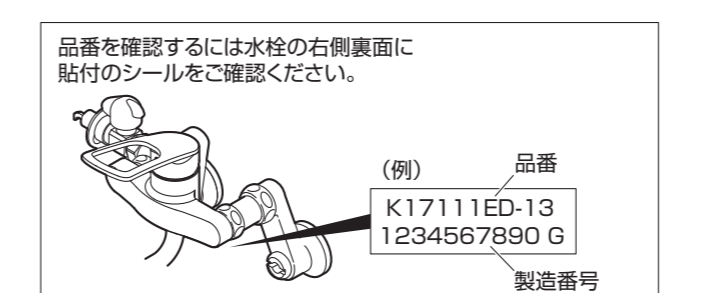
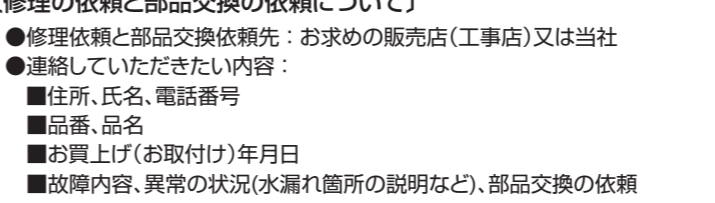
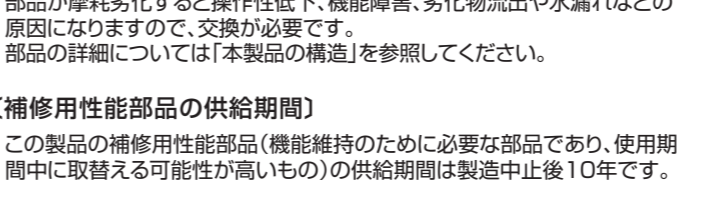
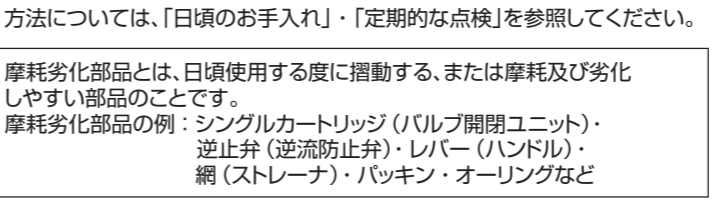
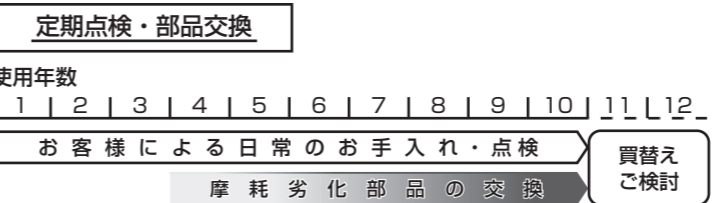


保証とアフターサービス



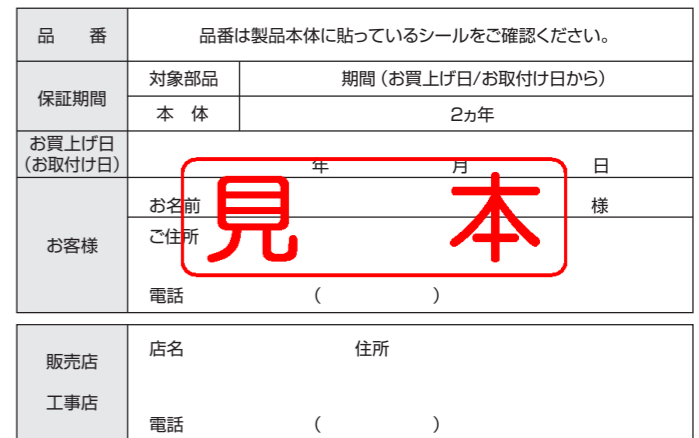
水栓の定期的な点検・部品交換について

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)



水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。



<無料修理規定>

- 1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
(1)使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
(2)温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
(3)お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
(4)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
(5)電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
(6)消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
(7)施工説明書などに基つかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
(8)建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
(9)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
(10)ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
(11)砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
(12)寒冷地仕様製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(13)本書の提示がない場合
(14)本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

